

環境まちづくりをめざす

あじえんだ

秋

2002

第13号

2002年11月15日発行



みやこ

京
のアジェンダ21フォーラム
ニュースレター

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味。
「京のアジェンダ21フォーラム」では、市民・事業者・行政が力を合わせて
環境と共生できるまちの姿を描いていきます。



巻頭特集

KES 学校版で 環境にやさしい学校をめざす

学校や地域に広がる KES の取組

アジェンダ見聞録

ヨハネスブルグ・サミットから地域社会へ

アジェンダ NOW

醍醐地域 広がるエコな響き

体験！ ドイツのごみゼロ祭り！

KES 倶楽部活動報告

アジェンダフォーラム会員紹介 ひと・まち・きたる

大西 啓子 さん

未来に残したい...
京の知恵

「共有」暮らし

非日常の食材や調理器具や

食器や広い台所を

自分の家には「所有」しないで、

板前さんまでも

いわば「共有」する。

この頃の警沢家事の

ゴタゴタとは無縁の

合理的で軽やかな

暮らしの知恵です。

写真 滋野浩毅

*詳しくは5ページをご覧ください



巻頭特集

KES 学校版で 環境にやさしい学校をめざす

昨年10月からのKES学校版の試行に取り組んでいた京都市内の11校(小学校9、中学校2)のうち、朱雀第三小学校と粟田小学校が7、8月に相次いで認証を取得した。KES学校版をさらに普及させるためのヒントを得ようと、朱雀第三、粟田の両校を10月初旬に訪ねた。

京都市立朱雀第三小学校

朱雀第三小学校は今年2月の校舎全面改築にあわせ、太陽光発電パネルや雨水タンクを設置。また、給食から出る生ごみの堆肥化にも取り組むなど、環境問題への関心が高い。正門を入ると、まず目に入るのがピオトープ。訪ねた日は稲刈りを終えたところだったが、街中の小学校に田圃の雰囲気が漂うのはうれしい。同校の環境学習の基本理念は、自然と触れ合い、自然のすばらしさを体感し、環境を守る気持ちを育てるにある。ピオトープもその理念を具体化したものだ。

学校全体で生活を見直すきっかけに

「子どもたちが本当の意味で優しい心をもってほしい。自然とふれあい、自然のために何ができるのかを考え、次の世代に美しい地球を手渡そうと考えて行動する そんな子どもであってほしい」と藤村法子校長。8年にわ

たる環境教育、児童たちの環境調査団や環境活動団などの活動実績がある。KES学校版の話を書いて「これはうちがやらなければと思った」。

マニュアル作成などを担った中原美千恵教諭は、環境学習を行動に結びつける難しさを感じていた。自分の生活を見直すことに学習をどうつなげるかを模索していた時、KESの話が持ち込まれた。同校のメンテナー「草花と仲良くなれるような学校」に、環境問題をプラスして計画をつくれれば、学習したことを行動に移せる仕組みができるのではないかと考えたと言う。

学校にあった組織づくりを実現

同校は、3年生以上の総合的な学習の時間の3分の2を自然観察や環境学習に充てている。3年生から自然やピオトープの観察を始め、5年生は環境

調査団として水質や空気の汚れなどの調査を行い、6年生は環境活動団と名乗って環境保全活動に取り組む。観察・調査・活動というプロセスを踏みながら学習を進めてきた。自然観察を通じて、水や土などへの関心を高め、幅広い環境問題に目を向けさせるというのが狙いである。

認証を取得しても、従来からの学習や活動の継続を基本としている。推進組織も既存の環境調査団、環境活動団、児童会、環境委員会、動物村委員会、園芸委員会をそのままKESの環境マネジメント組織図に位置付けた。一方で教職員は、新たに省エネルギー、省資源、地球温暖化、校内美化のチームを立ち上げ、紙ゴミの減量、節水、節電など具体的な改善目標を設定した。そうした作業の過程で教職員の意識が大きく変わってきたという。自然との触れ合いを生活の見直しにつなげ、なにより学校全体で取り組む体制をつくるのがKESにおいて最も重要という認識が共有された。とはいえ「マニュアルが全教職員に理解されるまでにはまだ時間がかかる。毎年人が入れかわるので、誰でも参加できる体制づくりが求められます」と中原教諭は今後の課題を語った。

学校から地域へ

「KES認証で、みんなが真剣に環境のことを考えるようになった」と環境活動団団長の西村拓磨くん(6年生)。

KES学校版第1号として認証を取得したことは地域でも歓迎されている。同校校庭で行なわれる少年補導委の餅つき大会でも、使い捨て容器はやめて洗い皿にしようという提案が出された。環境への関心が、子どもを通じて家庭や地域へ広がりを始めている。



ピオトープでは赤米も栽培されていた。今後どんな生き物の生息地となっていくのか楽しみである。



KES コーナーでは、学校でのごみの減量状況が掲示されている。



子どもたちが考えた朱三小環境宣言

環境改善目標

1. 環境学習 自然とのふれあいを体験しながら環境保全の大切さを学習する
2. 省エネルギー化 電力使用量2%削減
3. 省資源化 水使用量2%削減
4. 地球温暖化防止 紙ごみ2%削減
5. 校内美化

朱雀第三小学校と粟田小学校のコンサルを担当したKES審査員のお二人より、KES学校版の試行に携わっての感想をいただきました。

KES学校版がうまくいくか心配でしたが、藤村校長先生の「京都で1番にとるのや!」という強烈な一言が積極的な取組に火をつけて着々と仕組

み作りが進められました。京都で1番は日本で1番です。いやスウェーデンに続いて世界で2番かな? 今後の継続的な発展を期待しています。(荒川佳夫 朱雀第三小学校のコンサルを担当)

KES学校版の場合、企業と異なり、教育という目的に合った目標をたてる必要があります。粟田

小学校の白川の清掃や嵐山小学校の鯉の稚魚育成などは環境改善活動を通じて生徒たちに実践の大切さを身に覚えさせる良い目標で、このような目標は企業でも従業員のモラル向上策として大いに参考になると思います。

(長野哲朗 粟田小学校のコンサルを担当)

京都市立栗田小学校

栗田小学校では、「人にやさしく、ものにやさしい子」を教育目標に掲げている。「人にやさしく」は人権の重視、「ものにやさしく」は自然環境を大切に を意味している。同校が栗田山や白川といった地域の環境に目を向けたのは、道徳的な実践力と自然環境とは密接に結びつくと考えたからである。

KESで取組の充実をめざす

もう12年も続いている白川の清掃活動「きらっと白川」は、総合的な学習の時間「きらりアワー」の一環である。地域団体の「クリーン白川の会」「愛鴨会」に児童会が清掃活動をしたいと申し出たのが始まり。当初は1～6年生が参加するフレンドリーグループによる年1回の清掃だったが、華頂短期大学のボランティア、三条保育所の子どもたち、福祉施設の人々も加わり、地域活動として定着した。現在は毎月1回、40～50名の児童が参加して行なわれている。地域の自然とふれあい、それに関わっている人々との交流を深める場だ。COP3開催の1年前から始まった「栗田子ども環境サミット」も、保護者や地域の人と一緒に環境問題を考える場である。初回に「栗田小学校環境宣言」を採択。その後も環境活動の目標を決めたり、環境劇を上演したりしてきて、今年度で7回目を迎える。

「環境教育の充実と、学校の環境問題に教職員がどう取り組むか」という二つの課題が課せられるのがKESだと思う。これまでの取組を未来につなげる好機と考え、認証取得を決断したんです」と富田剛史校長。掲げられた環境改善目標は、学年に応じた環境学習の時間数の確保、白川のボランティア清掃活動の実施、栗田子ども環境サミットの充実など。「子ども中心の環境教育に教職員が積極的に加わり、

京都市内へと広がる

朱雀第三、栗田の両校とも環境教育に先進的に取り組んでおり、それがKES認証取得のベースになっている。けれど「目標を立て、計画を作り、その評価をするというシステムに教職員



廊下にはKESの認証登録証と栗田小学校環境宣言

6年生の教室の様子。栗田アジェンダ21について説明していただいた



学校全体で取り組む形が生まれてきた。地域の人には通信『アースフレンド』で環境教育について伝えてきたが、さらに新たな視点で発信していく」と、KESに取り組んだ中心メンバーの藤原一絵教諭は意欲的だ。

子どもたちの環境宣言づくりに向けて

同じく中心メンバーの森江里子教諭は「答えが用意されている教科書の勉強と違い、自分たちで課題や解決策を見つけてくのが環境学習だと感じています」と語ってくれた。子どもたちによる環境宣言づくりが今後の大きいテーマの一つだそうだ。

6年生の教室で。「白川清掃にボクらが真剣に取り組んでいたら町の人たちもごみを捨てないようになると思う」「以前は自転車なんかも捨ててあった白川がきれいになってきた」など6年間の清掃活動を通して感じたこと、水や川の調査結果、「栗田アジェンダ21」への取組など活発な発言が続く。同校ではKESについて児童に

が慣れておらず、結果を数値で表すのには戸惑った」というのが共通の感想だった。例えば、環境学習の評価を学習回数で評価するのが妥当なのかなど。今後の工夫が望まれる点だ。一方で「結果を出さなければ、と思うようになったのはKESの効果」とする

環境改善目標

1. 環境学習を学年に応じた時間数取組む
2. 1日1回白川のボランティア清掃活動の実施
3. 環境サミットの充実
4. 水使用量5%削減

水や川について調べて自分達のめざす理想の白川をイメージして作成した模型。



詳細は伝えていない。だが、教職員がKESの意義を認識して子どもを指導し、子どもたちはこれまで通り自然に環境活動に取り組んでいるようだった。

学校間のネットワークを広げるとい夢

「自分の生活を身近なところから振り返ることができる環境教育には、道徳的な要素、人権的な要素、国際的な要素などが含まれる。自分の足元をしっかりと見て、地についた実践活動につなげる教育でありたい。KESを生かした環境学習を子どもの身につくものにするのが今後の課題です」と富田校長は話す。同校は昨年、エル・ネット^(注1)を活用して北九州の小学校と交流した。他の学校との連携やKES認証取得校との交流、国際子ども環境サミットの開催……と校長の夢は広がっている。

注1：エル・ネット…文部科学省が実施する衛星を利用した教育情報通信ネットワーク

事もあった。ともあれ朱雀第三、栗田の両校に続いてKESを導入する学校が増え、環境にやさしい学校の輪が京都市中に広がっていくことを期待したい。

付記：9月には京都市立嵐山小学校が認証取得した。(10月末日現在)

KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード)とは 「環境マネジメントシステム」の京都版です。企業等の経営に当たって、環境への負荷を管理・低減するための仕組みである環境マネジメントシステムには国際規格ISO14001がありますが、よりわかりやすく取り組みやすい京都独自の「環境にやさしい基準」として誕生しました。取組の段階によって、2つのステップを設けています。



●ヨハネスブルグ
南アフリカ共和国

ヨハネスブルグ・サミットから地域社会へ

ICLEI（国際環境自治体協議会）は、63カ国 411の自治体および自治体連合組織を会員に持ち、持続可能な発展のために地域社会が具体的な取組を行うこと、その積み上げによって国や国際社会を動かすことを活動を目的としている国際的NGO（非政府組織）である。情報交換や比較対照、あるいは相互協力を促進するための共通の活動枠組みを設けつつ、ローカルアジェンダ21、大気汚染と気候変動防止、および淡水資源管理の分野で国際キャンペーンを実施している。また各種資料の発行や研修、会議開催、自治体を代表して国連諸会議への報告書の提出や代表団の派遣を行っている。京都市は勿論ICLEIに加盟し、積極的にこの活動に参画している自治体のひとつである。

ICLEIは他の自治体連合組織や国連諸機関と共同して、ヨハネスブルグ・サミットにおいて自治体の公式イベントである「自治体セッション」を8月26日から30日まで開催した。ここには、榎本京都市長を始め世界の自治体首長120名、その他自治体関係者、政府機関および国際機関代表等、世界71カ国から合計750名が参加した。「自治体セッション」は、自治体の主

張をサミット本会議の議論に反映させること、および持続的社會づくりに向けての自治体の活動方針を明らかにし行動を喚起するという2つの目的を持って開かれ、自治体宣言の発表とともに、アジェンダ21の実行を促進するための「ローカルアクション21」が提唱された。

自治体のアピールを5つにまとめて紹介しよう。

1) 地域社会の着実な成果

現在113カ国6400を越える地域社会が、ローカルアジェンダ21に取り組んでいる。ヴェクショー（スウェーデン）では、市の活動における化石燃料の使用をゼロにする試みが進展した。クリチバ（ブラジル）は、乗用車の保有率はブラジル1であり、過去30年間に人口が倍増したにもかかわらず、公共交通を優遇する都市政策により交通量は減少し、大気汚染度もブラジルで最も低い生活環境の優れた都市づくりに成功した。ジンジャ（ウガンダ）はローカルアジェンダ21手法を用いて女性や若年層を巻き込み、廃棄物の減量と堆肥化、バイオマス発電を実現した。政府間の協議がなかなか進まない中で、地域社会の取り組みは各地で着実な成果を上げている。

2) 支援・連携の必要性

個別の自治体の成果は、大きなインパクトを与えることはできない。また同一のエコシステムに含まれる地域は、共同行動が必要である。自治体間の協力や、他のレベルの政府

との協調や連携が、制度を整え、活動成果の効果的拡大を可能にする。国や国際社会は、アジェンダ21の課題に取り組む自治体に対して、一層の支援を行うべきである。

3) 自治体政策の推進

持続的な地域社会づくりは、環境保全活動にとどまらない。環境負荷の少ない地域経済の振興や雇用拡大、社会的弱者に配慮した都市づくりや、土地利用、交通政策等様々な政策分野の連携が必要である。持続的発展を自治体の基本方針に据えて政策を推進するとともに、地域資源を効率的に利用し、実効性を高めるためのマネジメントツールを導入するべきである。

4) 地域社会の合意形成と参画

行政と地域社会を結ぶ地域フォーラムは、市民や利害関係者の合意形成と参画に重要な役割を果たしている。この活動と参画の質が、「ローカルアジェンダ21」の成功のカギとなる。地域社会からのボトムアップアプローチは、全ての活動の基本である。

5) アクション21へ

長期的なヴィジョンの共有や計画づくりは各地で広まったが、どのような計画も政治的なコミットメントも、確実な実施を伴わなければ意味をなさない。アクション21に進むために、各地域で今何がアジェンダ21の障害になっているか、これを乗り越えるにはどのような行動が必要か議論を深め、目標を定めた具体的戦略を立てることを提案する。新たな活動が京都を始め世界各地で起こることを期待したい。

ICLEI(国際環境自治体協議会)
日本事務所
岸上 みち枝



「自治体セッション」で京のアジェンダ21フォーラムの取組などを報告する
榎本京都市長

Q 最近よくパーク・アンド・ライド、トランジット・モールという言葉を目にします。この秋、京都・嵐山で実施された交通社会実験でも取り組まれたとか。どんな意味ですか？（左京区 N）

A パーク・アンド・ライドは「駐車する 乗る」という二つの動詞を組み合わせた言葉です。観光地や都心部など自分が行こうとしている最終目的地までクルマを乗り入れず、途中に用意された駐車場にクルマを置き、鉄道やバスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に向かう交通システムを意味します。駐車場は、都心部や観光地から少し離れた郊外の駅や高速道路のインターチェンジ近くに設けられます。利用者には道路渋滞を避けて早く目的地に着けるというメリットがあり、走行するクルマが減って二酸化炭素の発生を抑制する効果も期待できます。

トランジット・モールは、クルマの走行を禁止したり、障害物を置いてクルマが走行できないよう工夫した道路形態を指します。道路が狭いのではなく、ゆったりとした歩道、自転車道、公共交通（LRT・路面電車やバス）の専用走行レーンが設けられています。

つまり、歩く人にやさしく、環境にも配慮した新しい道路の使い方のことを言います。ヨーロッパの都市の中心部はほとんどトランジット・モールになっているようです。歩いていても安全だし、便利な公共交通もあるので、商店街もにぎわうのでしょうか。市民や観光客が買い物や散策をのんびり楽しんでいます。

LRT = 超低床で最新のデザインによる路面電車とその運行管理をする全体的な交通システム。

（酒井弘 （社）システム科学研究所）



ドイツ フライブルクのトランジット・モール

其の拾参、「共有」暮らし

京の町に「仕出し屋さん」というものがある。家での法事や大事なお客の時はこの仕出し屋さんをお願いして、上等で手の込んだご馳走を届けていただく。ごく希には家族のハレの日にも利用していたらしい。出前や宅配ピザとは全く異なる格調の世界を楽しみながら、非日常の食材や調理器具や食器や広い台所を自分の家には「所有」しないで、板前さんまでもいわば「共有」する。この頃の贅沢家事の「ゴタゴタ」とは無縁の合理的で軽やかな暮らしの知恵です。町では元々お互いできるだけ物を共有して、使うときだけ借りるのが醍醐味です。それでこそ小さい家でも広く暮らせ、お金も節約になり、結果的にはゴミも減る。

例えばレンタカーというものはいつも新しく故障知らず車庫要らず、一瞬でしかない子ども家具は次の世代にお任せするのがスマートだし、住まいも家族二人から始まり三人なり五人となつてまた二人に戻るという定めからは、どうもお借りする方が勝ちのようです。ヤドカリは自分にあつた貝殻をその都度選ぶという。そろそろ「所有欲」を捨てて「借りる」に徹した生き方を研究すると、もっと面白い暮らしが発見できるかもしれません。

ある若者が「冷蔵庫は持ってない。コンビニが自分の冷蔵庫。いつも要るだけで「賞味期限切れ」知らずだから地球にも優しい」といつていた。あのコンビニにも案外新しい未来があるのかもしれない。

恩地 惇

（会員、環境デザイナー）

（株）G K 京都取締役社長

写真提供 川嶋一成氏

<http://members.jcom.home.ne.jp/k-kawashima/>



歩くまち・京都へ この秋次なる一步

京都ウエストサイド物語・レンタサイクルで、グルッと洛西！ 実験実施！

京都ウエストサイド物語実行委員会が、10月10～19日の10日間、嵐山のレンタサイクルを車折・太秦（2ヶ所）・御室・大將軍そして四条大宮（計6ヶ所）で返却できる特設返却ポートの実験を行いました。

同実行委は、京都市西部の商店街・社寺・鉄道事業者などが集まる組織で、洛西地域の活性化をめざしています。今回の実験は、嵐山のレンタサイクル利用者を商店街に呼び込んで商店街の活性化を図るとともに自動車に頼らず、環境にやさしく、健康にも良い観光スタイルの可能性を探るために、レンタサイクルの新しい活用法



大映通商店街の返却ポートにて

の可能性を検証することを目的に実施しました。レンタサイクルは借りた店に返すのが原則ですが、商店街・鉄道沿線・ターミナルなどの複数の場所で返却できるようにしたのです。この方式だと、少し離れたところにある商店街へも行きやすいし、自転車利用の時間と距離も伸び、車より行動範囲が広がるのではないかと。車から公共交通+自転車へのシフトを促し、道路や鉄道の混雑を緩和し、温室効果ガスの排出量を抑制することなどを狙っています。

の可能性を検証することを目的に実施しました。

将来は、嵐山などの観光地だけではなく、都心部の商店や駅などでも貸出しと返却ができる「マルチポート」のレンタサイクルが京都市全域で展開されることを期待しています。京のアジェンダ21フォーラム・自転車タスクチームは、企画段階から参加して、この実験をサポートしました。今回の特設返却ポート利用者は195名に達し、このシステムの有効性が実証されたと考えています。

京のアジェンダ21フォーラム・自転車タスクチームは、企画段階から参加して、この実験をサポートしました。今回の特設返却ポート利用者は195名に達し、このシステムの有効性が実証されたと考えています。

の有効性が実証されたと考えています。

『まちなかを歩く日』が今年もやって来ます！

一昨年から、中京区の都心部（堀川～河原町、二条～四条）で、“安心して歩けるまち”“歩いて楽しいまち”をテーマに繰り広げられている「歩いて暮らせるまちづくり」。その中心的な取り組み『まちなかを歩く日』が今年もやってきます。

主催の「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」には、都心9学区（城巽、本能、龍池、明倫、初音、日彰、柳池、生祥、立誠）の地域組織、商店街、そしてこれを応援する市民・専門家が参加しています。

『まちなかを歩く日』は、伝統産業などの地域資源を活かした回遊性の向上と、自動車・公共交通・自転車を含む都心の交通問題への取組を、同時多発的に繰り広げるイベントと実験の集合体で、11月16日（土）、17日（日）を中心に、交通関連の実験はその週の前半から行われます。

京のアジェンダ21フォーラムでは、自転車タスクチームが中心となって、まちなかの駐輪問題の解決策を見いだすための「特設有料駐輪場実験」を行います。

さわやかな秋の週末、京都のまちなかの魅力をあらためて感じるこの企画に、是非ご参加ください。

<主なイベント>

まちなかウォークラリー（駒札をめぐるクイズラリー）
城巽学区：五彩の茶会、城巽御利益めぐりなど
本能学区：公開工房ツアーなど
明倫学区：町家6邸ガイドツアー、室町蚤の市、コーラスなど
生祥学区：生祥クラシックコンサート
京都織物卸商業組合：町家の美術館～室町時代・絢爛衣装展
京の三条まちづくり協議会：京の三条ウォーカーズストリート
錦市場商店街：錦市場・秋の大感謝祭
寺町京極商店街：コンパッソ寺町2002ストリートギャラリー
まちづくりネットワーク京都：歩行者系と自転車系のリンケージモデルの創出
京のアジェンダ21フォーラム：まちなかの自転車利用をもっと考える

（詳しくは市内掲示板ポスター、11月上旬発行のパンフレットで）

問い合わせ先

京のアジェンダ21フォーラム事務局（担当：佐藤）
歩いて暮らせるまちづくり推進会議事務局
（担当：（有）市民空間きょうと・山田）
TEL/FAX 075-213-4495
E-mail：akihiro@mbox.kyoto-inet.or.jp

「紅葉の嵐山観光はマイカーからバス・鉄道へ」～パーク&ライド、トランジットモール実験実施～

観光シーズンの嵐山地域の渋滞解消や歩いて楽しい観光の実現に向けて、大規模な交通社会実験が実施されます。昨年度の一方通行規制に続き、今回は「パーク&ライド」と「長辻通のトランジットモール」がメインの取組です（詳細は以下）。

京都市における今後の交通政策の方向を左右する重要な試みですので注目してください。ぜひ成功させて都心や市域全体への広がりにつなげていきましょう（近所の方はご参加を）。

『パーク&ライド』（11/16～11/17）

…市外からのマイカー観光の車を市内3ヶ所（JR丹波

口駅周辺、JR二条駅周辺、島津製作所、全部で約1,700台を収容可能）に設けた駐車場に誘導し、JRや京福電車で嵐山へ。

『もみじモール嵐山』（11/17）

…嵐山地域のメインストリートである長辻通の西側半分を、バス（北行一步通行）自転車、人力車のみ通行可とし、東側半分を歩行者天国として、マイカーの流入を規制。

詳しくはポスター・チラシ・ホームページで確認してください。

<http://www.e-arashiyama.com>

体験！ドイツのごみゼロ祭り！

京のアジェンダ21フォーラムでは「京の祭りのエコ化」の調査研究を進めてきた。昨年度のパイロット事業に「エコトーン」が提案したプロジェクトで、「エコトーン」を中心に準備会議を重ね、ワーキンググループ立ち上げを目指している。鴨川さくらまつり、あけぼの保育園（伏見・醍醐）の夏まつり、左京ふれあいまつりなどのイベントでエコ化の実践も試行し、発生するごみの実態把握にも取り組んでいる。

9月21日から2週間ドイツのミュンヘンで開催された世界最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」に参加した。今年が169回目の開催という歴史ある祭りで、移動遊園地や民族衣装の大パレードのほか、主会場となる市内の広場には各ビール醸造メーカーがそれぞれ2000人以上収容できるピヤホールを建設する。

期間中ミュンヘンを訪れる人は約650万人。ある年の記録



ワンウェイ
容器ゼロ!!

では、フェスト期間中にビール約600万リットル（大びん換算947万本余）、鶏60万羽、ソーセージ150万本などが消費されたとか。

私達の目的はビールを飲むことではなく、フェストの環境対策を調査すること。事前の情報ではごみになるものは一切出ないという。さて、このような大きな祭りにおいて、どんなふうに具体的な環境対策を行っているのか。

露店でソーセージを食べようとした私達に渡された皿は、使い捨て容器ではなく陶器だった。デポジット制度が導入され、食べ終わったら店に返却し、お金を返してもらう。これはどの露店もあたりまえのように行っている。店内を覗いてみるとそれぞれに工夫された洗い場が設置されていた。飲み物はすべて瓶入り。デポジットの料金は統一されている訳ではなく、各店が独自に決めているようだ。日本の祭りでも出るごみの大半が使い捨て容器、それに比べこちらでは最初からごみになるものは限られている。容器をできるだけ使わず紙に包んで出す商品が多いという印象も受けた。

しかし、夜になって驚いた。ひどい散乱ごみ。紙類が主である。あたりは暗くごみ箱が見当たらない。日本と同じような部分も見受けられるようだ。

とはいえ、祭りにおける環境対策ではドイツが一歩先行している。対策がスタンダード化している。日本でもしっかりとした対策マニュアルを作成し、祭りのエコスタンダードを確立できたら と考えた。（エコトーン 太田航平）



KES 倶楽部活動報告

KES 認証取得者への情報提供と取得者相互のネットワークづくりを目指して、KES 倶楽部が5月より活動を開始しました。10月末現在でKES 認証はステップ1・125社、ステップ2・36社、小学校・3校が取得しました。これらの事業者・団体のKESに関わる担当者に向けて、取得後の運用に役立つ環境情報発信を目的に研修会やメール・FAXマガジンの発行を行っています。

8月には「環境改善目標の選定」をテーマに第1回研修会を開催しました。研修会では、津村KES認証事業部コーディネーターから環境改善目標の選定についてアドバイスを受けたのち、各社の日頃の取組事例紹介や、疑問・悩みの相談も登場して活発なディスカッションが行われました。研修会といっても固い雰囲気ではなく、気軽に日々の運用について語り合う場になりました。今後も隔月で開催する予定ですので、KES 担当者は是非ご参加ください。研修会やメール・FAXマガジンで取り上げてほしい環境に関するテーマもメールやFAXで受け付けています。

KESの存在をアピールすることは認証取得者にとってもプラスになります。そこで、外部の環境活動にも参加・協力を行いました。9月にはWWF（世界自然保護基金）が参加企業を募集している「京都議定書の発効に賛

同する企業の国際署名 e-mission55」にKES 倶楽部会員企業有志が参加して署名を行いました。8社が参加したこの取組は、新聞紙上でも報道され、KESの存在を広く内外にアピールしました。

今後は地球温暖化防止への意識を高める「環境教育」に対応したシステムづくりへの参加や環境イベントへの参加の呼びかけを行っていかうと考えています。

京のアジェンダ21フォーラムの活動と協力して、環境にやさしい事業者間のエコビジネス・ネットワークの構築を目指して活動を行う予定です。

（KES 倶楽部世話人会代表 西本 雅則）

問合せ先 KES 倶楽部

E-mail:kes-club@jca.apc.org FAX 075-323-6686



第1回KES 倶楽部研修会 8月23日 京エコーセンター活動支援室にて

ひと
まち
きたる

大西 啓子 さん



待ち人来る、ではなく「ひと・まち・きたる」。
京のアジェンダ21フォーラムの会員で、積極的に活動
されている方を紹介していきます。

NPO法人きょうとグリーンファンド事務局長。環境カウンセラー。リターナブル瓶の取組をはじめ、食、ごみ、水のことなど活動は幅広い。

環境問題に関して幅広く活動されていますが、きっかけは？

20年位前、有吉佐和子の小説「複合汚染」を読んで食の安全性が気になりはじめました。そんな折、子どもが生まれたもので、無農薬野菜や加工食品の共同購入をする会に入ったのです。そこから、食べるものだけでなく、水とかエネルギー、ごみなど、生活に密接に関係したさまざまな問題が見えてきました。そして、自分達だけが安全なものを手に入れてそれでいいのか という疑問が膨らんできたんです。何ができるか分からないけれど、自分のできることから始めよう というのが私のスタートでした。

それが「使い捨て時代を考える会」でのリターナブル瓶の取組につながっていくのですか？

ゴミを減量できないかという発想からなんです。ものすごいでしょ、量が。牛乳パックの回収とかもしたけれど、追いつかないのね。容器をゴミにしないためにはリユースできるリターナル瓶を……と。幸いにして私は「使い捨て時代を考える会」をはじめ、仲間に恵まれて、少しずつだけやっている内にやるべきことが実現できてきた。とりあえず、共同購入の商品から始めています。牛乳、ビール、一升瓶はまあまあうまくいっている。今は統一規格のリユース瓶をメーカーに持ち込んで、導入を進めている段階です。50円のデポジットで、ジュースの900ミリリットルのリユース瓶はすでに実現しました。どんどん進めたいのですが、コストの問題が大きい。現状ではワンウェイの瓶を使うほうが安いんですよ。

平行してグリーンファンドの活動もやってこられたわけですが。

ええ、北海道グリーンファンドの話聞いて、京都でもなにかをしたいと、2000年の11月にNPOとして立ち上げました。みんなで力をあわせて「グリーン電力」を生産する仕組みです。それぞれが省エネに取り組みながら、寄付を寄せあい、その基金で「自然エネルギー（おひさま）発電所」を作っていきます。事務局は4人で和気あいあいとやっています。（いつでもボランティアは募集中。サポーター、会員、おひさま募金など、詳しいことはお問い合わせください。）お陰さまで、京のアジェンダ21フォーラムのパイロット事業に採択され、すでに1号、2号機が完成しています。

京のアジェンダ21フォーラム会員の方にメッセージを。

これからも、人と人とのつながりをコーディネートして行ってほしいですね。会員の方には、環境問題について勉強するだけではなく、何か自分にできることを見つけて、具体的にできるところから動き出してもらえたら…と思いますね。

今日はありがとうございました。

（聞き手・撮影 千葉有紀子）

NPO法人きょうとグリーンファンド 連絡先

TEL/FAX 075-241-0550(火～金 13:00～17:00)

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

URL <http://www.h3.dion.ne.jp/> kyoto-gf

京のアジェンダ21フォーラム入会のご案内

【年間会費】

一口1,000円を単位として、会員ごとに次の口数分とします。

(1)個人会員 1口 (2)団体会員 2口以上

*会費は郵便振替または銀行振込をご利用ください。

郵便振替口座：00960-7-143508

京のアジェンダ21フォーラム

銀行振込口座：UFJ銀行京都支店 普通 5468383

京のアジェンダ21フォーラム

【会員の特典】

ニュースレター・各種案内資料の無料送付、ワーキンググループへの参加、主催行事への参加など

みやこ

京のアジェンダ21フォーラムニュースレター 2002年秋(第13号)

発行：京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部地球環境政策課内

TEL. 075-222-4037 FAX. 075-222-4039

E-mail. ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL. <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

企画：同フォーラムニュースレター編集チーム

編集：河村吉宏・佐藤桂子・滋野浩毅・竹村光世・千葉有紀子・能村聡

デザイン・レイアウト：藤本芳一

このニュースレターは古紙100%の再生紙に大豆油インクを使用しています。